

議会だより

2018.7.27

No. 178

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

しょうわ

昭和町議会が目指すもの ②

区長会との意見交換会 ③

一般質問 ここが聞きたい ⑧

議員記者が行く！ 農業委員会を取材！ ⑱

●表題(しょうわ)については
「常永小学校 6年2組
細田 咲さん(ほそだ さき)」の直筆です。

昭和町議会が目指すもの

～議会基本条例を改正し、新たなステージへ～

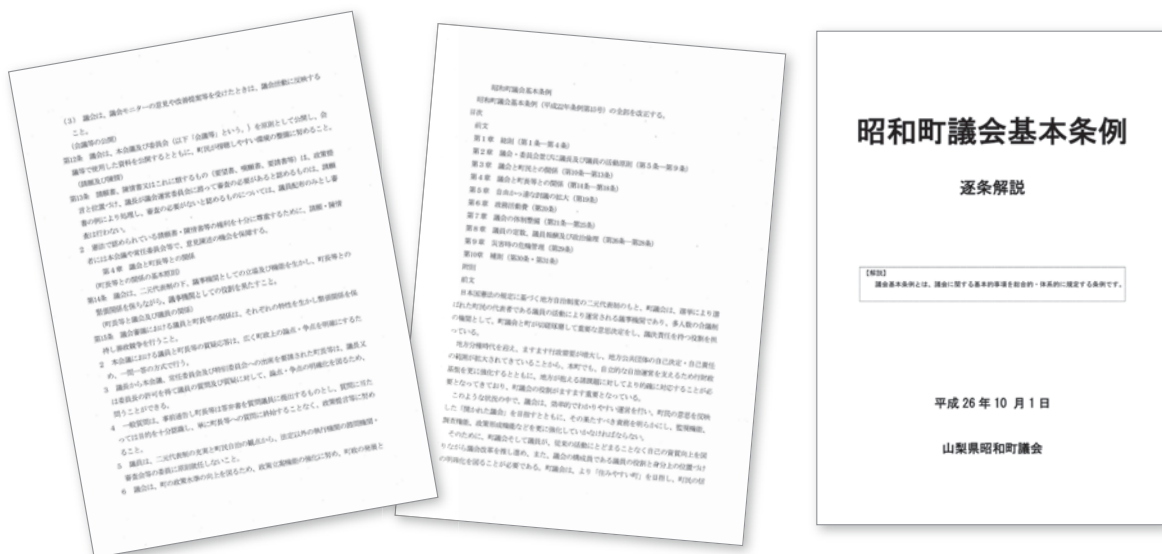
議会基本条例の改正に伴い、町の審議会等の委員に議会議員が就任しないことを明記しました。行政の監視機関として、審議会等に参加せず議会全体で事業・計画等に対し、討論し、審議会とは違った視点から事業・計画へ意見等を反映させることができると考えています。

今後議員が委員に就任しない主な審議会等

- 総合計画審議会●男女共同参画審議会●地域包括支援センター運営協議会
- 環境審議会●国民健康保険運営協議会●社会体育施設運営委員会●昭和町水防協議会

その他主な改正内容

- 議会への説明等の条項変更＝経緯・内容・比較・財政状況等の明示を具体的に要求
- 災害時への危機管理の条項追加＝災害時の行動に際し、議会災害対策本部設置要綱に準ずることを明記



区長会との意見交換会

参加者

西条一区／曾根孝順	紙漣阿原／窪田俊明
西条二区／小宮山稔	築地新居／磯部光美
清水新居／藤原勇一	飯喰／高野和秀(副会長)
西条新田／鮎川 哲(会長)	河 西／山畠 実
押 越／有賀 勝	上 河 東／向山 晃
河 東 中 島／深澤敏朗(副会長)	上河東二区／河西芳彦

敬称略〈以上12地区区長・ほか町議会議員〉

井戸端会議について

区長会

これまでは議会が地区の要望を吸い上げる場だったと思うが、議員がもっといろんな投げかけをしてはどうか。

議 会

テーマ等を決めてやっていく形にすれば住民の皆さんと良い話し合いができるのではないかと思いますので、検討し、実施する。

区長会

いろいろな要望等が出ると思うが、町はこう考えている。というよりも議員個人の考えを話して欲しい。そうすれば議員と住民の対話になるのでは。

議 会

議会としては地域の悩みや個人の意見をいただきたい。行政関係の質問は担当課の回答が必要な場合が多く、議員個々の意見は述べるににくい。

区長会の活動について

区長会

区の問題点(後継者問題等)は区長会で対応していきたい。また、自治会活動の在り方、問題点等は専門家の話を聞いてみたいので、議会と提携している山梨学院大学の教授の講義を受けたいがどうか。

議 会

日程等調整した中で検討する。





決まったこと

平成30年6月定例会は、6月6日から12日まで7日間の会期で開きました。町長提出の専決関係7案件、条例関係10案件、平成30年度一般会計および特別会計補正予算2案件、その他10案件を審議しました。

一般質問では8人の議員が12件について活発な質問・意見を展開しました。

〈詳細は7月末更新予定のHPの会議録をご覧ください。〉

※塚原 将司議員は議長のため、採決には加わっていません。

種別	案件名	堀門太	依田茂巳	金丸富一	薬袋義久	石原一好	中澤康夫	石原高明	林和仁	鷹野一雄	河住保茂	樋口敏夫	※塚原将司	田中博愛	遠藤辰男	三井猛	河田あけみ	審議結果
議案第24号	(仮称) 昭和町子育て支援拠点センター用地及び建物の取得の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第25号	押原公園人工芝張替工事請負契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議案第36号 議案第37号	平成30年度一般会計及び特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
意見書第1号	子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議提第1号	議員派遣の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
議提第2号	昭和町消防団員の昭和町立温水プール等の使用料免除に関する条例制定の件	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	×	×	×	×	賛成少数で否決
委提第2号	昭和町議会広報発行に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	全員賛成で可決
同意第1号 同意第2号	①昭和町教育委員会委員の任命について ②昭和町教育委員会委員の任命についての以上2件につきましては、全員賛成で同意となりました。																	
請願第1号 請願第2号	①子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願 ②昭和町各機関における非行政書士行為排除の徹底を求める請願の以上2件につきましては、全員賛成で採択となりました。																	
承認第1号 承認第7号	①昭和町国民健康保険条例中改正の件②昭和町国民健康保険税条例中改正の件③昭和町税条例中改正の件④平成29年度昭和町一般会計補正予算(第6号)について⑤平成29年度昭和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について⑥平成29年度昭和町介護保険特別会計補正予算(第4号)について⑦平成29年度昭和町下水道事業特別会計補正予算(第5号)についての専決処分を求めることについて 以上7件につきましては、全員賛成で承認となりました。																	
議案第26号 議案第35号	⑧昭和町公告式条例中改正の件⑨昭和町総合計画審議会条例中改正の件⑩昭和町環境審議会条例中改正の件⑪昭和町中小企業・小規模企業振興基本条例制定の件⑫昭和町水防協議会条例中改正の件⑬昭和町開発許可等の許可基準に関する条例制定の件⑭昭和町放課後児童健全事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件⑮昭和町指定居宅サービス等の事業に関する基準等を定める条例廃止の件⑯昭和町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件⑰昭和町国民健康保険税条例中改正の件 以上10案件につきましては、全員賛成で可決となりました。																	

今回、議提第2号について賛成討論・反対討論がありました。以下抜粋した内容を記載。

●賛成討論:堀 門太議員

この議案を提出するにあたってボランティア団体の代表にアンケートを実施した。そのアンケートの中でこの条例を制定することに賛成の方もいた。無償で活動して頂いている方々もこの条例に賛成されていることを踏まえ、消防団に対する使用料免除の条例制定は可決されるべきものだと考える。

●反対討論:石原 高明議員

ボランティア団体だけでなく、多くの団体の整合性を考慮すべきであり、当局では、既に行っている消防団の支援策と、消防団のニーズに即した新たな支援策の検討を行い、年度内の要綱策定に向け進めているところであり、新たな条例は必要ないものと考え、条例制定は反対する。

ほたるんに聞いてみよう!

拡大版!



ねえねえほたるん。

「(仮称)昭和町子育て支援拠点センター用地及び建物の取得の件」と「押原公園人工芝張替工事請負契約締結の件」ってなにが決まったの?



まず、(仮称)昭和町子育て支援拠点センター用地及び建物の取得の件から説明するよ。

これは、子育て支援拠点センターをつくるために、建物とその場所を買ってもいいですか?っていうものなんだよ。お金が沢山かかるものを役場の人たちの判断だけで決めちゃうのはよくないよね。だからお金がかかるものを買ったり、つくったりするときは町民の代表(議員さん)に聞いてからいろいろ進めるんだ。

ここが
支援拠点センター
になるよ!



次に、押原公園人工芝張替工事請負契約締結の件の説明をするね。

町が業者さんにお仕事を頼むときに、「だれかやりたい人いるかな?一番安く、いい仕事をしてくれる人にお仕事ををお願いするよ」って業者さんにお知らせするんだ。こっちもお金がかかるものだから、少しでも安く、そしていい仕事をしてくれる業者さんがやってくれるのが一番だよ。

今回はその決め方でこの値段でやってもらうけど議会の皆さんいいですか?っていうものだよ。



町のことでお金が沢山かかるときには絶対に町民の代表《議会》の了承をもらわなきゃいけない。しっかりお金の使い道や、どういうやりくりをしていくか、について質問もしているし、ダメなところは直してもらったりして、はじめて沢山のお金が使えらるんだ。

町民の代わりに皆が納めている大切な税金の使い道についてしっかり監視するのも議会の役割なんだよ。



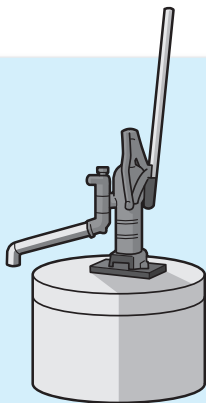
またわからないことが
あったら聞いてね!

第2回定例会(6月)委員会質疑

水源対策 特別委員会

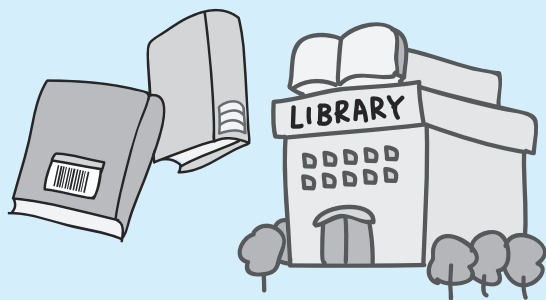
地下水採取の適正化に関する条例に基づく井戸設置届出について、担当課より報告(2件)があった。

その他について、山梨大学地下水共同研究委託の概要について地下水調査・データ解析及び地下水マップ化・地下水の鉄分を除去する装置を設置しデータを収集の3点について進めていくこととした。との報告を受けた。



地方分権対策 特別委員会

(仮称)生涯学習館の建設について生涯学習課長より説明があり、建設予定地(押越地内)が決定した。その後町の基本的な考え方が示された。建物約4,000㎡。駐車場用地約300台が必要。



教育厚生常任委員会

第2次昭和町 食育推進計画について

河田議員 第2次昭和町食育推進計画はどのようなものか。

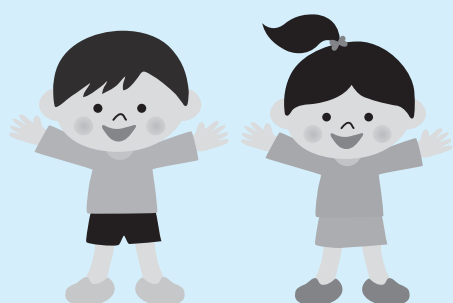
教育長 こしよく(個食・孤食・粉食)等、食における新たな課題への対応が必要である。

食事をとるのは基本的に家庭なので、家庭での食育を充実していくよう進めていく。

子どもの貧困について

鷹野議員 子どもの貧困についてどのように対応しているか。

学校教育課長 庁内の組織づくりや会議を開催し、各課において支援について検討している。



放課後児童健全 育成事業の 条例改正について

河住議員 放課後児童健全育成事業の条例改正で5年以上事業に従事した者で町長が適当と認めたものは担当職員となれるそうだが、年齢制限はあるのか。

福祉課長 年齢制限はない。

国保事業について

中澤議員 国保事業の主体が県へ移るに際して、町で余剰金が生じた場合はどうするのか。

町民窓口課長 余剰金については基金へ積み立てる。

通所介護事業所について

河住議員 地域密着型の通所介護事業所は町内にいくつ存在するのか。

いきいき健康課長 本町内には、全部で4つの事業所が存在する。

産業土木常任委員会

押原公園

人工芝張替について

依田議員 他の公園等に現状の人工芝を再利用することについては、考え方は良い。しかし可燃物として扱われているので場所によつてはたばこのポイ捨て等で火災の恐れがある、その点の管理・周知はどのように考えているか。

都市整備課長 充填剤に砂が使用されており砂が水分を含んではいるが、押原公園、ほかの公園についても園内禁煙を周知徹底していく。

鷹野議員 人工芝張替の工期中と休止期間に1ヵ月の差があるが、どのような工事計画なのか。

都市整備課長 管理記録及び書類整理、また検査等の期間も含めた工期



計画となっている。

依田議員 昭和町中小企業小規模企業振興基金条例の10条及び11条により、振興計画が作成できるとなっているが、振興計画はどのようなものか。
環境経済課長 今後できるだけ早く、振興計画を作成していきたい。

総務常任委員会

(仮称)昭和町子育て支援センターについて

三井議員 昭和町子育て支援センターの工事は何月に始め完成はいつになるのか。

また、小児用トイレについても検討してほしい。
副町長 補助金対象であるため、申請をしたら今年度ではなく、来年度に補助金が付くようになったため、1年遅れになる。

現在考えているのは、1階部分を子育て支援センターにするが、今まで使っていた配線等の関係で床に凹凸があり、それを平らにし、パーテーション等で仕切りをする等の工事をする予定である。
また、小児用トイレについては他施設のものを

参考にする。

防災備蓄倉庫について

石原(二)議員 国母工業団地内に昭和町防災備蓄倉庫があるがどのように活用しているのか。

企画財政課長 平成22年5月31日まで、甲府広域行政事務組合から借用していたが、現在は返却し、町の所有ではなく甲府広域が所有している為、活用はしていない。



総務常任委員長より報告

昭和町消防団員の昭和町立温水プール等の使用料免除に関する条例制定の件について

議員提案で河住議員、堀議員より温水プール等の使用料免除に関する条例制定の件が提出された。

過去の総務常任委員会において堀議員から消防団の活動支援策としての提案を受け、他にもボランティア団体がある中で消防団員のみを特別扱いは出来ないとの理由で当局及び議会でも否決された経緯等を踏まえ、今回も委員会の中で消防団員のみ特別扱い出来ないとの意見が多数あり否決となった。

第2回定例会(6月)委員会質疑

施策を問う

ここが聞きたい

一般質問の内容は議会事務局及び7月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

一般質問

Q 地域資源のさくらを
活用したまちづくりを

A 彩の広場のさくらを活用し、
地域と協働のイベントを開催したい



依田 茂巳 議員

再質問

協働のイベントはいつごろ
始める考えか。

企画財政課長

彩の広場への桜の植樹は平成31年2月に行う予定で、開花は早くても平成32年春と思われる。協働による地域活性化も平成32年に向けて諸課題を整理しながら進めていきたい。

Q 企業支援につながる
補助制度の拡充で
消防団員のサポートを

A 年度内の要綱策定に
向け検討していく

依田

昭和町では消防団員数は
確保されているが、その8割

は被雇用者で各事業所の理解と協力が不可欠だ。

企業支援につながるかたちで現状の補助制度を拡大充実させて、消防団員をサポートしてはどうか。

町長

地域防災の要である消防団員には専門的な知識や免許、資格が必要となる場面が想定される。各種免許・資格の取得助成制度については担当課で検討している。

消防団のニーズなどをふまえ、消防委員会で検討を重ね、年度内の要綱策定に向け進めていく。

Q 金融機関の建物を
大規模災害発生時の
庁舎の代替え施設に

A 安全性の高い建物なので
可能と考えられる

依田

本年度、取得予定の前の山梨中央銀行昭和支店の2階部分を、大規模災害発生時に庁舎が使用できなくなった場合の代替え施設にしてはどうか。

またバックアップデータの保管体制をどのように検討、整備するのか。

町長

昭和町業務継続計画では、役場庁舎が使用できなくなった場合は、押原公園管理棟を、またそれが使用できない場合は、公共施設のうち本部機能を確保できる施設に本部を設置するとある。洪水ハザードマップ、液状化危険度マップにおいて、金融機関の建物はより安全性の高い場所にあると思われる。この施設の利用については、子育て支援拠点としての整備を第1に、譲渡後に機能を精査し円滑に進めたい。

またバックアップデータについては、民間のデータセンターの利用も視野に入れ、最善な方法を検討していきたい。



将来を見据えながら、町の付加価値を高めていく

林

人口減少が進むと、社会を支える働き盛りの生産年齢人口（15歳～65歳未満）が減少するため、自治体の税収が減り、財政も福祉も成り立たなくなり、自治体機能が維持できなくなる。

地方衰退の原因は人口減少問題である。

平成の大合併では、平成11年に全国3,232あった市町村が、平成26年には1,718市町村になり、実に1,514市町村が統合された。

県内でも合併により64市町村が27市町村になった。



はやし かずひと
林 和仁 議員

昭和町では、住民意向調査により合併しないという選択をし、近年では、常永土地区画整理事業を行い、昨年12月には町の人口は2万人を超え、他町村では見られない推移で人口増加が続く、活気のある町となつていく。

昭和町第6次総合計画の目標人口では、平成37年には人口21,500人と見込み、昭和町人口ビジョンにおいては、平成47年には人口21,900人と緩やかに増加傾向が続いているが、少子高齢化時代は昭和町も例外ではなく、近い将来、人口減少は、避けられない問題である。

次世代が安心して住み続けることができるよう、人口減少への対策は今からやらねば遅く、喫緊の課題であるが、町の考えは。

町長

本町でも将来的には人口減少・少子高齢社会は確実に進行していくと思われる。単独町の利点を活かし、コンパクトで住みよいまちを形成し

ており、持続可能なまちづくりの骨組みは整っている。昭和町というブランドに新しい価値を加え、来たる将来に今から備えていく必要があると思う。

現在、都市計画マスタープランを策定し、計画に基づく土地利用なども、着実に進めていくための道筋を整えているところだ。10年先、20年先を見据え、福祉や教育などのソフト事業とあわせて、町民の多様なニーズに応えられるよう取り組んでいく。

さらに、（仮称）生涯学習館を、町民の皆様の拠り所や、地域の力を生み出すものとして整備し、昭和町の付加価値を高めた。

再質問

町の活性化を図るには、これからのまちづくりに貢献できる企業誘致が必要だ。昭和町は、創業比率が非常に高く、2009年～2012年の経済センサスに基づく統計調査では、県内で1位全国では12位と、企業誘致にはいずれの企業も大変適した地域であり、中小企

業や小規模企業を応援する町独自の優遇制度は現在はないが、国や県などの優遇制度を活用して働きかけをし、たらと考えるが。

環境経済課長

本町の実情に沿った企業支援の在り方を調査しながら、県などとも連携を密にして企業誘致に取り組んでいきたい。





地方の活力低下が進む 「2040年問題」への対応は

A

本町の実情に応じた方策を検討する



いしはら たかあき
石原 高明 議員

石原（高）

昭和町の総合計画の策定にあたって最も重要な要素は、将来人口であり、日本の総人口の減少と少子・高齢化の加速の中で、昭和町は人口に占める年少人口、生産年齢人口の割合が高いことから、計画の目標年次である2025年人口は21、500人と設定している。

この2025年は、日本人の5%を占めている団塊の世代が介護リスクの高い後期高齢者になる年で、日本の後期高齢者の割合は20%近くに急激に膨れ上がることで医療費・社会保障費もさらに膨らむことが予

想されるため、「2025年問題」として各分野で様々な取り組みが行われている。少子高齢化が進む中で若者が流出し、地方の活力低下が進み、全国1、800ある自治体のうち約半数が消滅するといわれている「2040年問題」が注目されている。昭和町は若者女性人口の減少が低く、消滅の可能性はないようだが、2040年頃に想定される本町の課題について議論を始める考えはあるか。

町長

本町の人口ビジョンでは、平成47年をピークに、その後ゆるやかな減少に転ずるとされており、持続可能なまちづくりのため、町民の皆様のご意見やニーズを把握し、10年先20年先の自治体運営に備えていきたい。まずは、庁内会議等の場を有効活用し、本町の実情に応じた方策を検討していきたい。

Q 増加する扶助費の財源確保の手法は

A 税収確保等に努め、事業改革にも取り組む

石原（高）

平成24年度から5年間の決算状況は、特定目的基金8億2千万円余が平成28年度では14億5千万円程に積み、地方債の年度末残高は68億5千万円余が52億4千万円余と23%も削減されるなど堅実な財政運営ではあるが、その一方で、扶助費はこの5年間で2億5千万円、18%も増えた16億2千万円程となっている。

人口減少と少子高齢化の進行に伴い増加する扶助費の財源を捻出することは、今後の財政運営の大きな柱になると思われる。その財源を確保する手法をどう考

えているのか。また定期的に実施している事業改革、事務改善についても改めて点検する考えはあるか。

町長

本町の扶助費の増加の主な要因は、障がい者の自立支援費に対する経費、保育所等給付費の増額が考えられる。国、県からの補助金が交付されているが、町としての財源確保は課題となる。財源確保に向け、収納率向上による税収確保と他会計への繰出金の減額、また消費税増税に伴う地方消費税交付金の増額など鋭意努力するとともに、経常的に実施している事業改革、事務改善についても、各種受益者負担金の見直しを進めているところだ。今後職員一丸となり財源確保に向けて取り組んでいきたい。



Q

労働人口減少を見据えた町の戦略は

A

多様な施策で 起業支援と人材育成を進める



かねまる とみかさ
金丸 富一 議員

金丸

2025年には超・超高齢社会が訪れるといわれ、本町では町の発展をけん引してきた柱の一つである企業数の減少と労働人口の減少、ひいては人口流出が懸念される。

また、A-1化が加速する中で、豊かな感性を持つ人材を育てる環境づくりこそが、今後の町の発展をより確実なものにできる施策だと考えるが、町長の考えは。

町長

「昭和町工場立地法地域準則条例」により工場立地に関わる緑地率を緩和し、企業

立地や既存工場の増築等が行いやすい環境を整えた。

また、「昭和町産業立地事業に対する助成金の支給に関する要綱」の改正により、様々な分野の企業の立地等を支援することができるようになった。

また、山梨県と県内27市町村が連携した計画「やまなし未来ものづくり推進計画」により、地域の特性を活かした企業の支援を行うことが可能となっている。

さらに、平成28年に策定した「創業支援事業計画」により、商工会や金融機関等と連携して起業者の育成や創業の支援を行っている。

これらの施策により企業の成長の支援と人材の育成を行っていきたく考えている。さらに、新たな条例や計画の策定により、中小企業の支援を二層強化できるものと考えている。

Q 企業誘致などを進めるシステム構築を

A 県や商工会などと連携して誘致を進めていきたい

金丸

事業拡大や収益性の向上、及び今後成長が見込まれる地域の特色を生かした産業を扱う事業所など、幅広い支援も含めた誘致や公募を計画的に実施するためシステムの構築が必要だと思うが、町長の考えは。

町長

今のところそのようなシステムはないが、県や昭和町商工会、工業団地の組合等と連携する中、昭和町第6次総合計画や昭和町都市計画マスタープランに基づき企業誘致等ができるよう取り組んでいきたい。

また「中小企業・小規模企業振興計画」を今後策定し、企業支援の実効性を高めていければと考えている。



Q

リニア中央新幹線駅近郊街づくりを

A

リニア新駅アクセス道路については
調整会議によらず
中央市と連携して進めるたなか ひろよし
田中 博愛 議員

田中

リニア駅近郊街づくりに
ついて、県と甲府市、中央市、
昭和町3市町による連絡調
整会議が開催された。

リニア新駅へのアクセス道
路として計画されている
「昭和・玉穂中央通り線」に
ついては、本町と中央市環状
線とを結ぶ都市計画道路は
県道市川三郷線を南にJR
身延線跨線橋でつなぐ主要
道路でもある。

このアクセス道路は大き
な事業費が見込まれること
もあり、県と、中央市、昭和
町の連絡調整会議の中で進
めていくことが必要だと考

える。早期の調整会議の開
催を提案する。

町長

「昭和・玉穂中央通り線」
の整備については本年度から、
平成14年度に都市計画決定
された道路の幅員や道路構
成等の細部について検討を行
い、平成31年度より昭和バイ
パスから市川三郷線までを整
備する準備に着手する。

市川三郷線から南について
は、身延線跨線橋の整備があ
り、代行施工などの県の支援
がなければ、実現は非常に困
難であり、今後も県に要望し
ていく。

「昭和・玉穂中央通り線」
の整備については、現時点では
県を交えた中央市・昭和町の
調整会議によらず中央市と
連携して進めたいと思う。

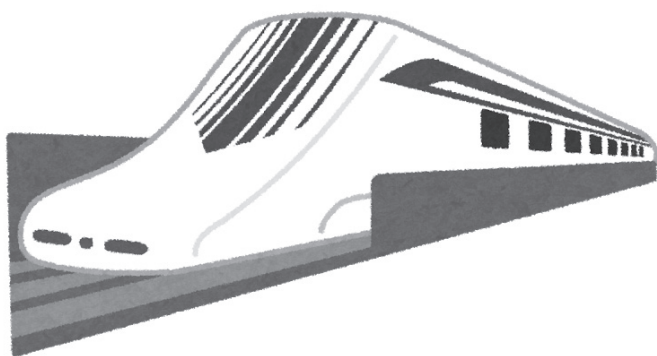
再質問

JR身延線の跨線橋から
南の対策について、さらに具
体的な進め方を聞きたい。

建設課長

身延線跨線橋の整備は県
の支援がなければ実現は困
難であるので、中央市ともな
お一層の連携を図り進めた
い。

また、リニア環境未来都市
整備方針にリニア開業効果の
全県への波及という意味にお
いて、リニア駅を中心とした
交通ネットワーク整備という
観点で、支援を強く要望して
いく。



Q

不登校児童生徒の居場所の確保を

A

教育支援センターの設置について検討する



たかの かすお
鷹野 一雄 議員

鷹野

不登校の児童生徒は全国的に増加していて、平成28年には「教育機会確保法」が施行された。これは「休養の必要性」、「学校以外の場の重要性」ということを認めたもので、この2つのキーワードを活かして子どもたちを取り巻く環境を変えていくことが求められている。全国的には教育委員会が設置する教育支援センターなどの公的施設やフリースクールが不登校の子どもたちを引き受けているが、昭和町には教育機会確保法が対

象とするフリースクールなどはない。

今後、不登校児童への支援の場として居場所の確保が求められると思う。町は教育機会確保法をどのようにとらえているのか。

教育長

不登校対策は重要な課題と考え、本町でも教育委員会と学校が連携する中で、スクールカウンセラーによる教育相談体制の強化や、「学校不適応指導教員」と「学力向上支援員」の加配、外国籍児童生徒の増加に対応した町日本語指導教員の増員配置などに取り組んでいる。

町としては教育支援センター的な施設はまだ設置していないが、町内にある民間フリースペースと連携して、不登校気味の子どもたちが学校以外の場所でも活動できるように取り組んでいる。

今後は他の市町村の動向も見極めながら、町内に教育支援センターを設置するのか、あるいは共同設置するのかを考えていきたい。

再質問

先進的に取り組んでいる市町村の様子を聞いても、適応指導教室の設置の必要性を強く感じるが、町の考えは。

学校教育課長

教育委員会としても適応指導教室は不登校児童生徒の受け皿として必要だと考えている。利用者が最も利用しやすい施設にするために、県や他市町村との連携や情報交換を行いながらしっかりと対応していきたい。

再質問

教育委員会としては、不登校児童生徒の最善の利益を考えた場合、子どもたちを最終的にどのようにすることが目的なのか。

学校教育課長

各小中学校において、不登校児童生徒が増えないようにきめ細かな対応をすることが必要だと考えている。

子どもたちが学校に来ることが大切だとする考え方を基本に全力で取り組み、それでも学校に来られない場合は、教育支援センター等を含めた支援も必要だと考えている。



Q 集団健診会場の混雑の改善を

A

改善に向けて既に検討していて、これから着手していく



かわだ あけみ 議員
河田 あけみ 議員

河田

町の集団健診は、会場である総合会館の1階ロビーがかなりの混雑状況にあり、隣の人の問診している声が聞こえることや、福祉課窓口を利用される方の不便など課題があると思う。現在の集団健診の混雑状況と今後の改善策を伺いたい。

町長

本町の健診は総合会館を会場に実施しているが、ここ数年の受診者数は全体では3,000人以上となり、健診の受付や問診の会場が確かに手狭になっている。担当

課では受診者の生の声や各種アンケート等で、健診に対するニーズを把握してきており、会場だけでなく、各種の改善にむけて既に検討に入っている。質的な向上も含めできることから着手していく考えだ。

再質問

改善に向けての具体的な課題と今後の対策は。

また、町以外施設での健診の希望は可能か。

いきいき健康課長

会場が手狭であり、ロビーでの問診の改善は限界だと感じている。また受診者には高齢者も多く、要介護者も受診されるので、その受け入れ態勢の改善も必要だと感じている。会場を総合会館の2階へ移すことも検討しており、今年度の健診の中で改善策について検証しながら、来年度は少しでも前に進めるようにしていきたい。

本町でも過去に施設健診を試みたことがあるが、集団健診と同じ検査項目を受けられない、費用が高いなどの

課題があり、1年で終わっている。今後、検討の余地はあると思うが、町の事業としていくにはいくつかの課題の解決が必要だ。

Q 遠距離通学者への定期券購入費助成を

A 必要性や効果の実証結果を参考に検討する

河田

県では3年間の実証事業として、平成29年4月以降に鉄道を利用して県外の大等学への通学を始めた人を対象に、市町村が通学定期券購入費を助成した場合に、市町村負担額の1/2を県が助成している。

既に甲府市や山梨市などの7市がこの事業を取り入れている。背景には大学などへの進学、卒業後の就職をきっかけとして、首都圏に転出することを少しでも減らし、県内の若者人口を増やす目的があると思われる。本町でも早急に検討すべきだと思うがどうか。

町長

遠距離通学定期券の購入費助成は県外へ通学する学生にとっては手厚い支援になると思われるが、転出の抑制につながるのか、大学生等の県内就職の促進を図ることができかなどについて、現段階では判断できない。将来の担い手となる若者の定着が必要であり、今後の県や他市の事業に対する必要性や効果の実証結果を参考にしながら検討していきたい。





文化ホール建設よりも 先にやることがあるのでは

A

文化ホールの整備・確保も重要だ



ほり もんた 議員
堀 門太

堀

建設計画が進んでいる生涯学習館について、老朽化した中央公民館や図書館の機能を持たせたものにするのは納得できるが、文化ホールを併設する必要はないと考える。

本町には総合会館の2階ホールや地域交流センター、大型体育館などさまざまな施設があり、それらを活用することで支障なく文化活動ができる。近隣市町の立派なホールを利用する昭和町民への利用補助などを導入してもいいと思う。

小中学校給食の無料化

や、「コミュニティバスなど、文化ホール建設よりも先にやることがあるのではないか。

町長

本町には文化ホール的な施設がなく、毎年開催している国内外の世界的演奏家を迎えての「室内楽のタベコンサート」や「小中学校音楽鑑賞会」などは、学校の多目的ホールや体育館を使用して開催している。

また、講演会や演劇等は、中央公民館の講堂や地域交流センター、総合会館の軽運動室を使用している。それらの施設には良質な音響・照明設備がなく、ステージのスペースも狭く、町民の皆様の芸術・文化活動を高めるような質の高い公演を開催するには適さない。

町民の皆様により良い学習・鑑賞機会を提供するため、また多様な交流の場としての拠点づくりのためにも、(仮称)生涯学習館は文化ホールの整備・確保も重要であると考えている。

整備については、議会の地方分権対策特別委員会で協

議し、全員の賛同を得て文化ホールを兼ね備えた「複合施設」とした。また(仮称)生涯学習館建設検討委員会も立ち上げて町の考え方を示した。

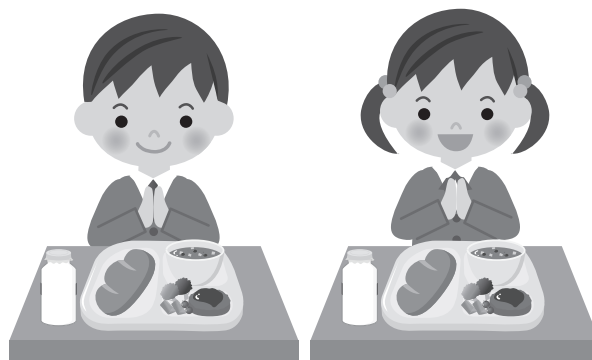
以上の経緯もあり、町外文化ホールの利用補助の導入については考えていない。

再質問

文化ホールの整備について住民の方々の意向調査、パブリックコメントなどを実施してほしいが、その考えはあるか。

教育長

このことについては議会でも多くの議論を重ね、議員の方々にも賛同を得てきている。再度パブリックコメントをとると多くの時間を要することになる。したがって、今現在これ以上パブリックコメントをとることについては一切考えていない。



広域事務組合議会報告

甲府地区広域行政事務組合議会 報告

報告議員：塚原 将司・依田 茂巳
(3市1町で構成)

7月組合議会臨時会 平成30年7月19日(木)午後1時30分～

中巨摩地区広域事務組合議会 報告

報告議員：遠藤 辰男・金丸 富一
(3市3町で構成)

次回は平成30年9月28日(金)午後1時30分～開催予定です。

三郡衛生組合議会 報告

報告議員：石原 高明・石原 一好
(2市3町で構成)

次回は平成30年11月7日(水)午後1時30分～開催予定です。

山梨県後期高齢者医療広域連合事務組合議会 報告

報告議員：三井 猛
(27市町村で構成)

次回は平成30年10月開催予定です。

国中6町議会議員研修会

日時

平成30年7月6日(金)午後5時～

講演

後藤 斎 山梨県知事

内容

「加速する!ダイナミックやまなし
国中地域の更なる発展に向けて」
リニア駅アクセス道路網・峡南地域の
道路網、整備について講演を受けた。



追跡



あの要望は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追
跡

「(仮称)子育て支援に関する 総合サービス拠点の整備・検討」について

平成29年6月議会 質問者:依田 茂巳議員

問

子育て支援策として、従来の子育て支援の継続のほか、多様化する子育てニーズによりきめ細かな対応を可能とする為、平成32年度までの設置を目指している(仮称)子育て支援に関する総合サービス拠点の整備検討はいつ、どこに、どのように考えているか。

答

子育て支援拠点センターの整備については、平成32年度利用可能とするため早急に検討していく。

その
後

平成30年6月議会において(仮称)昭和町子育て支援拠点センター用地及び建物の取得について議会の議決を経て、西条二区地内の山梨中央銀行跡地を購入し、1階フロアを拠点センターとして利用することを考えている。平成32年度までに利用可能となるように進めている。



山梨学院大学との研修会

6月14日(木)午後1時30分～

講師

外川 伸一

法学部
政治行政学科教授



内容

空き家対策と空き家管理条例

議会の今後の動き

空き家対策空き家管理条例の条例制定に向けて研修をしていく。現地調査・近隣市町村の対応調査等行う。

6月21日(木)午後3時～

講師

江藤 俊昭

山梨学院大学大学院
研究科長・法学部教授



内容

地域経営における総合計画

議会の今後の動き

総合計画の策定と運用に関する条例の制定に向けて、各計画の現状について協議・課題の抽出を行う。



議員記者が行く!のテーマは「町を守る」。今回は昭和町農業委員会の塩田会長に取材しました。



Q 農業委員会とはどんな組織ですか?

A

農業委員会は、農地の無秩序な開発を制限するため、市町村に設置された独立した行政組織。法改正により、農業委員の選出方法が、選挙制から任命制に変わり、当委員会では平成29年5月17日から女性や若手農業者を含む12名の新たな体制で活動しています。農業委員の任期は3年。



Q 主な活動は?

A

農地法により届出、許可申請された農地に対し審議を行います。また、農業を続けられない方の為に農地銀行により農地の貸し手、借り手の仲介も行います。その他、農地の利用状況確認の為に農地パトロールも行っております。農地の適正な利用状況を確認し、違反があれば是正を求め、ご協力願っています。



Q これからの委員会活動と課題は?

A

皆様もご承知のように昭和町は、山梨のほぼ中心地にある町です。このような、「開発地域の中の農地を守る」と言う事は、目まぐるしく変わる情勢に対し、大変難しく悩ましい所ですが、不耕作地・遊休農地等に対しては極力、再生・活性化していくよう農家の皆様にご協力をいただけるよう努めていきます。課題といたしましては、「農業経営者の高齢化」及び「農業を継承いただける方の減少」問題です。農地は有れど、継承者がいない農地をどのように再生するか検討していきたいと思っています。



Q 活動で心がけていることは?

A

今までの「個の単位」での農業は経営面では行き詰ります。これからは、農業法人又はグループ単位での活動が必要ではないかと思っておりますのでこのような考え方を、農業委員会で議論検討を重ねております。



会長から町のみなさんへ

昭和町の農業は農業振興地域がある以上は続いてまいります。健全な農業経営が基本ではございますが、これからの昭和町の農業としては、組織立った農業経営として捉えて頂き「昭和町の為になる農業」を、と言う観点から考えていただけると、考え方や見え方が少し違って見えるかもしれません。

ぜひ、町の皆様及び農業経営者の皆様にご協力とご理解を求めてまいりたいと思います。



議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

 空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ① 昭和町議会が目指すもの
議会〇〇条例を改正し、新たなステージへ
- ② 一般質問ここがききたい! 今定例会の質問者数は〇人!
- ③ 議員記者が行く! 〇〇委員会へ取材!



No.177に対する

こんなご意見を
いただきました!



3月定例会で審議結果が全員賛成で可決というのはどうかと思う。いろいろな意見があってこそその民主主義だと思うのですが。

メールにて(58歳・女性)

高校や大学との連携事業は
とても良いと思う。(P20について)

議会モニターさん

ほたるんに聞いてみようは和やかで、
続けてほしい。(P4について)

議会モニターさん

表紙について会場全体が入っている
写真のほうが良かった。
(表紙について)

議会モニターさん

文化活動、サークル活動は健康維持に
大変役に立つと思う。更に推進してほしい。
(P22について)

議会モニターさん

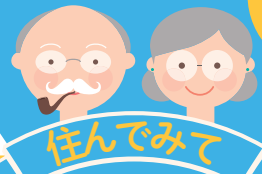
【応募方法】

①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想
を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送り
ください。議会だよりへの要望・意見等もありまし
たら、お受けいたします。

【あて先】

●〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール:gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp
《しめきり》8月末日 消印有効





快適で自然豊かな町昭和町



押越区

深澤

良光さん

私は大月の初狩地区より昭和町と縁あつて転入して来ました。先ず思つたのは昭和町には山がありません。毎日、坂道を登り降りする事も無ければ裏山が崩れ町が孤立してしまう事ありません。万一の災害に備えた防災公園があり、とても安心です。

昭和町には商業施設が沢山あり、又小中学校、役場、総合会館や体育館、図書館、郵便局など公共の施設も充実していると思います。教育や福祉の面でも子育てや老後の為の施設、保健などが整備されていて住み良い町だと思います。

春には山伏の桜の下でお花見。夏には周辺の田畑や川へ子供と一緒に昆虫や小魚などの観察に出かけたりします。

昭和町はこれからも道路や河川の整備、下水道などの生活に密着した工事が予定されていると聞きます。増々住み良い町へと変化して行くと思います。将来、子供達へ自慢出来る町にしたいと思います。ボランティア活動にも積極的に参加したいです。

昭和町に住んでみて



築地新居区

望月

優子さん

十四年前、結婚を機に主人の両親の住む昭和町に引越してきました。

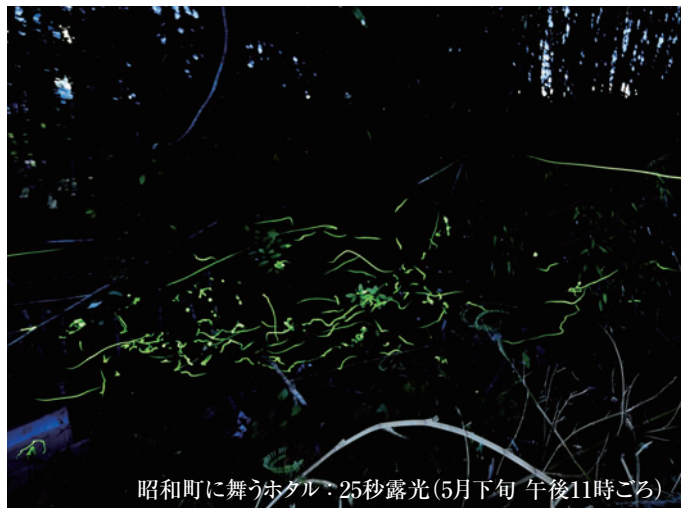
県外出身の私は当時、知り合いも少なく、知り合った人からも「県外の人ずら」と言われると距離を感じ、さみしく思うこともありました。

あれから十四年、二人の娘に恵まれ、子育てを通して沢山の友達ができました。今では県外出身だと言っても信じてもらえないくらい地元になじむことができています。

これは、温かく迎え入れてくれた義理の両親やまわりの方々のお陰と感謝しています。

最近昭和町は大型ショッピングモールや新しい住宅が多く建ちましたが、まだまだ田んぼや緑が多いし、何より、学校や、区長さんを始め多くの地域の方々が子供達を見守ってくださり、本当に住みやすく子育てのしやすい町だと思います。

これからも多くの出会いを大切に、地域の皆様と助け合って暮らしていけたらと思います。



昭和町に舞うホタル：25秒露光(5月下旬 午後11時ごろ)

山梨県市町村広報コンクール
議会広報紙部門
最優秀賞 受賞!!

● 広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 堀 門太
委員 林 和仁
金丸 富一
石原 一好
依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は9月6日(木)開催予定です
議会事務局 ☎275-8842

